

「南海トラフ巨大地震に備えるために」

～地域住民の願いに寄り添い高校生にできること～

須崎総合高等学校 防災委員
2年 西村 陸 1年 松坂珀杜 森岡蒼空 西山楽人

目次

1. はじめに
2. 活動背景
3. 目標
4. 活動内容
5. 実践内容
6. 今後の展望



はじめに

20XX年 X月 X日 南海トラフ巨大地震が須崎市を襲います。

- ・震度7, M8
- ・3分間の強い揺れ
- ・最大20mの津波

↓
須崎を残したい
みんなを守りたい！

3

活動背景

須崎総合高校では年2回の避難訓練及び防災学習を実施しています。

昨年度より、近隣6市町村防災課の方々と連携し
高校生の自分たちにできることを模索してきました。

↓
みんなの願いを実現する！！

4

活動背景

各市町村防災課が高校生に取り組んでほしい内容

- 須崎市
・自主防災組織への加入
・避難所運営の取り組み
・防災士(資格)の取得
・地域の人とコミュニケーションをとる
・避難訓練への参加
- 土佐市
・避難所の安全確保・整備
・地域の方との関係性を作る

5

活動背景

各市町村防災課が高校生に取り組んでほしい内容

- 中土佐町
・災害発生時、住民が何とかする
・若者が街から居なくなり跡継ぎできない
・高校生が街の主人公に
・地域コミュニティの衰退
- 四万十町
・体力の低下で訓練に参加できない
・高齢者率45%
・避難を諦めている
・防災意識が低い

6

活動背景

各市町村防災課が高校生に取り組んでほしい内容

- 津野町
・避難所開設訓練の手伝い
・自主防災組織の訓練への呼びかけ
・若者の活性化
・チラシ、ポスターの作成
- 佐川町
・避難所運営
・マニュアルの作成
・ボランティア活動に積極的に参加する
・町民中心の防災訓練

7

活動背景

地元地域のために高校生ができること

- ・避難訓練への参加の呼びかけ
- ・避難するときに高齢者を助ける
- ・地域イベントや訓練に参加する
- ・地域の人とコミュニケーションをとる(ボランティアや挨拶)
- ・避難場所の確認
- ・学校で地域の人と関わる場を作る
- ・目に付くポスターを作る

8

目標

「誰ひとり残らず生き残ること。」

活動内容

6月21日 須崎市多ノ郷地区防災連絡協議会に出席

(情報収集)

「近隣住民の方々の願いを聞く」



70歳代の各自主防災組織の地区長さんたちの切実な願い
自分たちの親世帯(80歳以上)は、避難することを諦めている。



↓
後期高齢者を助けたい！

10

活動内容

みんなの願いを実現する



みんなの願いを繋げよう！

11

実践内容①

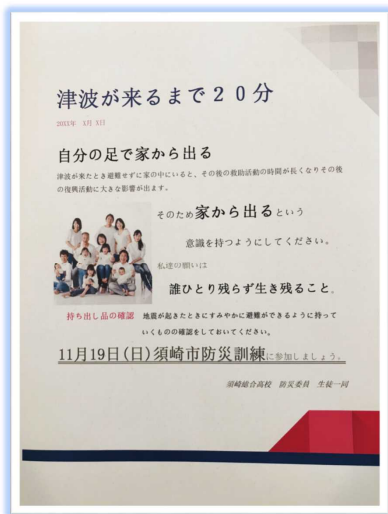
高齢者にも分かる、必要なことのみを描いたチラシの作成



自分の足で家から出る
津波が来るまで20分
家から出る意識を持つ
誰ひとり残らず生き残ること

11月19日(日)須崎市防災訓練に参加してほしい

12



13

実践内容②

地域住民へのチラシ配布

挨拶

コミュニケーション

14

実践内容②(配布物)

耐震化・家具固定・応急手当パンフレット



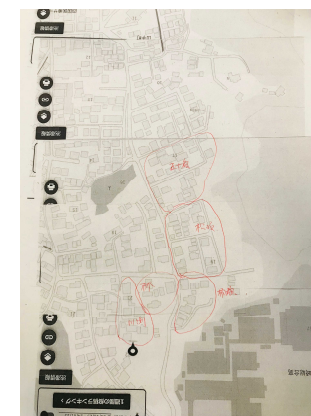
非常食(アルファ米)



15

実践内容②(配布場所)

防災委員22名でグループを編成し、学校近辺の住宅を訪ね歩いた。



16

実践内容②(配布の様子)



実践内容②(配布の様子)



実践内容②(地域住民の反応)

みなさん快く話をきいて下さった

私たち高校生の訪問を心待ちにしてくれた方もいらっしゃった

東日本大震災の救助活動をされた方が話し込んでくれた

お土産にミカンや柿、羊羹をくださった

電動車イスで移動されている高齢の女性は私は無理と言った

考察

全校生徒 市町村防災課の方々 地域住民

みんなの願いを1枚のチラシに込めた



更なる課題が見えてきた!

今後の展望

11月19日須崎市防災訓練に参加し、訓練参加の実情を知る
地域へのチラシ配布、防災意識向上のための取り組みを継続する
「私は無理」を言わせない取り組みを思案する



私たちの活動は続く！

21

ご清聴ありがとうございました。

須崎総合高校 防災委員

22